



第9回

ここに
あるもの
いるもの
いきものがたり

かたくりまつり

矢ばなの里

花に合わせて週末イベント開催
期間

3/19 ▶ 4/16

入場には環境整備協力金が必要(高校生以上)

主催 矢環境緑化実行委員会

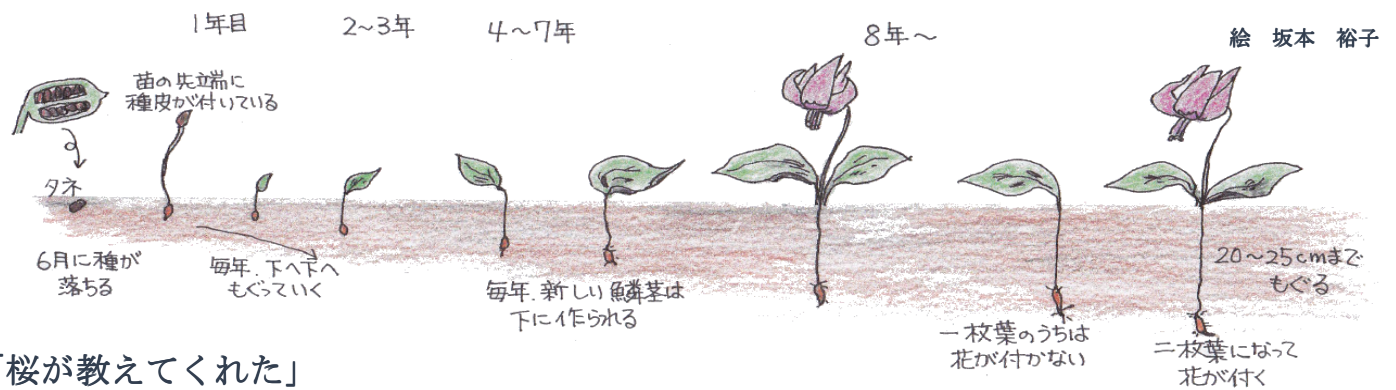
〒912-0008 福井県大野市矢10-26

TEL 0779-66-5949 FAX 0779-65-7579

Mail ya-takamatu@aqua.plala.or.jp



「ここにあるもの いるもの いきものがたり」



「桜が教えてくれた」

ユリ科カタクリ族 花言葉「初恋」「嫉妬」「寂しさに耐える」カタクリは寒い地方の植物で氷河期の生き残りと言われています。カタクリの名は鱗茎が栗の形に似ていることから来ているようです。昔、片栗粉はカタクリのデンプンで作られていましたが、現在はジャガイモなどから作られています。

家庭で使う燃料が薪から灯油などに代わったことで、里山に背を向けた生活が続き里山は荒れ放題でした。平成18年に地区を挙げて里山の整備に取り組み跡地に桜を植えて桜の名所づくりを始めました。その時にカタクリの群生地を発見、桜の名所づくりと合わせてカタクリ群生地周辺の里山をカタクリの名所として整備を始めました。群生地の山の斜面に遊歩道をつけ、ベンチも設けて安心してご覧頂けるコースとして整備しました。

「何も無い」ことで始めた里山の整備、10年かかり3㌥・100万本の西日本最大のカタクリの名所になり、県内外から多くの人を訪れるようになりました。

【いきものがたり】

カタクリ以外の生き物に目を向けようと平成28年から森に巣箱を取り付けました。巣箱をつけることで「見える里山」として里山の自然を知る場としての活動を始めました。取付けた巣箱は直ぐにかじられているのを発見、そこにはムササビが棲みつきました。巣箱を通して里山の自然、生き物が見えるようになりました。



矢ばなの里がカタクリ、ヤマエンゴサク、イカリソウなどの草花とフクロウ、ムササビなどすべての生き物が見れて、触れて、知れる。体感体験できる場所、人と自然が共生共存できる矢ばなの里を目指して豊かな故郷づくりを行っています。



矢ばなの里へのアクセス、交通

北陸自動車道 福井IC <R158> 30分
福井北IC<中部縦貫道> 30分
東海北陸道 白鳥ICから <R158> 70分

北陸本線福井駅下車
越美北線 牛ヶ原駅 下車 徒歩15分

矢環境緑化実行委員会

〒912-0008 福井県大野市矢 10-26
TEL:0779-66-5949 FAX:0779-66-7579
mail: ya-takamatu@aqua.plala.or.jp
HP: <http://www.yabananet.com/>